

2011年2月
第11-02号

+ 安全衛生ニュース

(2月・花粉症)

発行元
株式会社セルマ
安全衛生管理課

2 0 1 1 年 も 花 粉 症 に 要 注 意 !



2011年のスギ花粉の飛散量は例年よりも多いのでしょうか？ 少ないのでしょうか？
2010年の夏の気候を元にした2011年の花粉量予想をご紹介します。
多分、既に覚悟はしているかもしれませんが、早めの対策に役立ててください。



今年の春の花粉飛散量は例年より多く、昨年の2～10倍に！！



花粉症の方にとっては辛い時期が近づいてきました。
今年、スギ花粉の飛び始める時期は、2月上旬に関東地方・静岡県の一部で飛び始めますが、関東・東海・四国・九州などの多くの地域で2月中旬になりそうです。

日本気象協会が発表した予想では、昨年の夏の猛暑の影響でスギ花粉を生産する「雄花」が急増したことで、今年は花粉飛散量が大幅に増加します。

その他にも様々な情報を合わせると、2010年と比較して2～3倍程度の飛散量の地域から、10倍と大きく増えてしまう地域までありますが、全国的に2010年と比べると多いという予想です。

地域差がありますが、近畿地方は特に厳しい年になりそうです。

2010年の猛暑はスギを育てた！？

スギの発育は前年の夏の気候に左右され、日照時間、最高気温、降水量の影響を受けます。特に、スギ花粉の量は前年の7～8月初めの気象条件に左右されます。

2010年の夏を思い出してみてください。猛暑日が続き、雨も少なく、晴れた日が続きました。これは、スギの発育により条件が揃っています。

また、前年のスギ花粉飛散量が少ない年の翌年は多くなり、多いときと少ないときが交互にきます。2010年は花粉が少なかったため、2011年は量が交互に変わる法則からしても、花粉飛散量が多い年なのです。



いまから
できる

早めの花粉症対策あれこれ



花粉症の対策法は、体に侵入する花粉をいかに少なくするかと、花粉による症状を抑えるかが中心になります。今からできる対策としては、初期療法と言って、花粉が飛ぶ直前(2月上旬～中旬)から「抗ヒスタミン薬」などの花粉症の症状を抑える薬を使うようにしましょう。

身の回りですでにできることは、花粉症の症状を軽減してくれると学会などで報告のあるL-92に代表される乳酸菌とメチル化カテキンを含む「べにふうき緑茶」や、タンニン的一种である甜茶ポリフェノールを含む「甜茶(てんちゃ)」なども早くから使ってみてもいいかもしれません。

『ヒヤリハットアンケート』の提出をお願いします。

別途配布する『ヒヤリハットアンケート用紙』に記入し、事業所管理担当者に提出してください。
手渡しのほか、管轄営業所への郵送でもかまいません。